



速報！「2013年ラボ・中国青少年交流」 第二弾



公益財団法人ラボ国際交流センター



(2012年春ラボ・中国青少年交流での月壇中学校前で参加者とホストたちとの集合写真)

『平野理事長が、昨年末に北京と上海を訪問しました。』

「平野理事長とオフィス華林・林(リン)代表が、昨年12月26日から28日に北京月壇中学、上海外国語大学付属外国語学校を訪問し、両校の受入れに対する熱意と、街の安全を確認してきました。」

月壇中学では、張校長、副校長、交流担当者の3名と、上海外国語大学附属外国語学校では、外事部弁公室主任、他2名の交流担当者と面談し、両校から今春のラボっ子の訪問を心より歓迎し、受入れ家庭も受入れを楽しみにしていることが述べられ、交流の意義と継続の重要性を再確認してきました。

お土産にいただいた、2012年度版「北京市月壇中学校史」には、交流の歴史、日中交流の周年行事、ラボっ子との交流の様子などが、写真を含め12ページにわたり記載されており、月壇中学がラボの交流を重要視し、評価していることがよくわかりました。

『北京在住の元チューターなどに面会。生の中国情報をお届けします。』

「北京に在住している元チューター夫妻やお子様から現地の様子を伺うとともに(別紙参照)「時事通信社」の中国総局長林氏より、ジャーナリストの立場から中国の現状について聞いてきました。」

この間、メディアを通じて繰り返し流された映像から、交流実施には一抹の不安がありました。しかし平穏な北京の街を実際に歩き、林中国総局長の話を知ると、自分の目と耳で実際の様子を確認することの重要性をあらためて感じました。つまり報道されたのはごく一部の事件であり、こういう時期だからこそ直接中国を訪問し、ホームステイによって視野を広げ、相互

理解と友情を深めることが大切だと思ったのです。安全面でご心配されるご家庭もあるかもしれませんが、ラボ国際交流センターは、現地の学校、旅行会社との協力のもと安全管理を最優先に考え、参加者ひとりひとりが有意義な交流ができるよう万全の体制で臨みます。交流を継続させるためにも、ぜひ、ひとりでも多くのラボっ子やチューターの方々の積極的な参加をお願いします。



北京市月壇中学 張文生校長からのメッセージ

睇好!

与 LABO 交流的季节,即将到来。虽然目前的政治形势使我们非常苦恼,但不要担心,我们还是会按照以往的形式来进行明年的民宿交流。

月坛中学与 LABO 的民宿交流已经坚持了 27 年之久,我想没有什么原因可以阻碍我们的友谊,2013 年,我们非常欢迎也非常期待你们的到来。

让我们共同努力,希望新一年的交流活动更加精彩!
谢谢!

こんにちは!ラボと月壇中学の交流の季節が間もなくやってきます。両国の間にある政治的な問題はなかなか悩ましいものがありますが、心配する必要はありません。私たちは今年も今まで通りのホームステイ交流を行いたいと考えております。

月壇中学とラボのホームステイ交流は 27 年間も継続しており、如何なる困難があろうとも我々が築いてきた友情は続くと信じております。2013 年も我々は皆様の訪中を心よりお待ちしております。

今年もより素晴らしい国際交流になるよう共に頑張りましょう。
どうぞ宜しくお願い致します。

北京市月壇中学
校長 張文生

2013 ラボ中国交流プログラム概要(案)について

3月22日(金)

各空港より浦東空港到着後、上海外賓館へ移動。
対面式、各家庭へ。大人：上海外語賓館宿泊

3月23日(土)

終日、ホストと上海市内を散策、ホームステイ
大人：終日上海市内自由行動(オプションル
ツアー：蘇州日帰り)ホテル泊

3月24日(日)

終日、ホストと上海市内を散策、ホームステイ
大人：終日上海市内自由行動、ホテル泊

3月25日(月)

各自受入れ家庭とともに登校、
お別れ会、その後、ホテル泊

3月26日(火)

朝食後、全員で空港へ移動、上海から北京へ、
月壇中学校で歓迎会、対面式、各家庭へ
大人：ホテル泊

3月27日(水)

各自受入れ家庭とともに登校、授業体験(体育
・美術・音楽・日本語など)学校給食、
午後は市内観光、大人：ホテル泊

3月28日(木)

各自受入れ家庭とともに登校、授業体験(体育
・美術・音楽・日本語など)学校給食、午後は
日本側のみで市内観光、大人：ホテル泊

3月29日(金)

各自受け入れ家庭とともに登校、お別れ会、
万里の長城観光ツアー、ホテル泊

3月30日(土)

全員バスで空港へ移動、北京空港から
成田、関空、福岡へ



【お知らせ】訪問日程の変更について

当初予定していた日程より、1 日前倒しでの実施となります。

出発日:2013 年 3 月 23 日(土) 22 日(金) 帰国日:3 月 31 日(日) 3 月 30 日(土)

理由:上海外国語大学付属外国語学校の校舎建て替え工事が昨年より継続されており、土曜日(休日)の対面・引渡しに支障があるために、対面式を前日にしてほしいとの要望があり変更しました。金曜日到着後、学校が終了後にラボっ子はホストと一緒に帰宅し、ホームステイに入ります。上海での滞在が週末になるために学校での授業体験はありませんが、3 泊のホームステイをつうじてホストファミリーとの生活を最大限エンジョイできます。

3 月第 3 週の中頃に終業式を行う学校が多くあり、地域や学校によって、終業式が出発日と重なる場合があります。参加者にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願ひします。



日中関係の改善のために民間大使になりませんか？

北京市在住・福田奈穂恵さん(元チューター)からのメッセージ。
(ひろば@LABO の書き込みより抜粋)

今年の 9 月から日中関係は最悪の状態でしたが、報道でいわれるほどひどい状況は続いてはいません。時間の経過とともに私たち駐在員の生活は穏やかなものです。交流事業についても、月壇中学には 12 月中旬に千葉の幕張中学の学生が学校訪問に来ました。スーパーのイオンが国際的な文化・人材交流として「日中高校生交流事業」を 12 月に実施し、200 名が参加しています。国と国の間でギクシャクしていますが、民間での交流は継続されています。お互いの理解を深め、将来に続く絆を作るために努力する青少年の民間大使たちがいます。



ラボは 27 年前に「民宿=ホームステイ」という言葉を造ったといっても過言でない団体です。今までの絆を断ち切ることなく、更にたく長い関係を作っていただきたいと願っています。そのためには、チューターやラボっ子のみなさんが、今の中国を自分の目で見て、心で感じてほしいのです。

日本人の多くの方が中国各所で生活していますが、私たちは普段どおりに生活を送っています。息子は一人で公共の交通手段を使って現地校に通っています。何の問題もありません。事件が勃発した日から、私は

毎週 1 回、地下鉄に乗って月壇中学 を訪問し、ボランティアを行っています。

よく言われるように、日本と中国はお互い離れたたくても離れられない関係にあります。上手に隣国とお付き合いをしなければいけないのです。ラボっ子の年代で意外と知らない隣国のことに直接触れてみるのはとてもよい機会でしょう。ラボの交流プログラムは安全に管理されておこなわれていると思いますので、中国交流に参加するラボっ子にはとても貴重な体験になるはずで

国際交流に参加する人にとって大事なことは、参加する一人一人が、日本人の代表だということを実感して行動してほしいですね。また、相手の国の事を少しは勉強してから交流に参加してほしいと思います。例えば、アルバム作り、家族に自分を表現できるもの(手品や歌、楽器演奏など)最後に、日本と違って、中国は文化や考え方の違いがあり、逆にカルチャーショックを大きく感じることもあるでしょう。ですから、異文化を楽しむ気持ちを持って参加してください。



ラボ・中国青少年交流への参加申込みをお待ちしています！

募集締め切り：2013 年 1 月 31 日(木)